

Bellmark Shimbun ベルマーク新聞 9月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

地域をつなぐボランティア活動

被災校に備品寄贈・国際医療福祉大の試み



㊤2019年、宮城・山元町立山下小での寄贈式

㊤寄贈先の福島・富岡町立富岡第一小を大学生が訪れ、交流した
㊤8月24日にweb会議を使って取材。上段左から細貝良行教授、和田のみ子教頭、近藤正校長、大石剛史准教授(IUHWボランティアセンター長)、野澤拓夢さん(理学療法学科2年)、大島雅彦さん。下は左から福田規予子さん、大井工さん(放射線・情報科学科4年)、木村一翔さん(同科4年)、大橋理乃さん(薬学科4年)

国際医療福祉大学(栃木県大田原市)が6月、栃木県立栃木工業高校(近藤正校長)に大型扇風機3台を寄贈しました。同大の活動は、災害被災校などへの備品寄贈が目的で、自校のためにベルマーク預金を使ったことはありません。

活動の中心は大学にあるIUHWボランティアセンターですが、収集などには学校や企業なども協力し、地域社会を広範囲につないだ活動になっています。

近藤校長によると、昨秋の台風19号で近くを流れる川が氾濫し、校舎の1階が浸水しました。そこで、被害を知ったIUHWボランティアセンターが支援を申し出て、寄贈に至りました。

同大が活動を始めたきっかけは、学内にある保険代理店、株式会社セイフティケアからの提案でした。ベルマーク協賛会社のあいおいニッセイ同和損害保険(ベルマーク番号92)などの商品を扱っ

ています。橘久人さんによると「かつての上司が、学生向け商品のベルマークを活用したいと考え、提案しました」。

大学側は提案を受け入れ、収集に取り組むことを決定。学生の主体的な活動を促すために、医療福祉・マネジメント学科の大石剛史准教授による講義「ボランティアコーディネート論」で取り上げ、収集がスタートしました。

セイフティケアは現在もマーク収集に協力しており、橘さんは「回収することで、陰ながら学生の活動を応援している。運動に関わることが出来て嬉しいです」と話しました。

那須塩原市立三島小学校もマークを届けています。自校のベルマーク活動は休止状態でしたが、同大の活動趣旨に賛同し、今では5、6年生の福祉委員がマークを回収しています。和田のみ子教頭は「ボックスは常に置き、いつでも入れら

れるようにしています」と言います。

那須塩原市の社会福祉協議会も協力しています。20年ほど前から収集しており、マークを寄贈してくれる常連の人も多いそう。石崎修裕さんは「コロナ禍でも出来る活動として、10月の社協だよりにベルマークを掲載予定です」。

文房具や学校用品を販売する有限会社大島くじや(本社・栃木県大田原市)は、販売したカートリッジ類の回収をしています。「社会貢献活動は“永続的”にしないと意味を成さない」と話すのは社長の大島雅彦さん。活動を“買い手よし、売り手よし、世間よし”の「三方よし」だと例えました。

集まったマークは、有志が仕分けます。web会議には、仕分け経験のある大井工さん、木村一翔さん、大橋理乃さん、野澤拓夢さんが参加してくれました。学生以外に、放射線・情報科学科の細貝良

行教授も参加経験があり、「意外と、黙々とやれて、気分転換になる」と笑います。

一連の流れを支えるのはボランティアコーディネーターの福田規予子さん。「ベルマークを通して得られたのは、寄贈先、地域の方々、学生や先生方といったたくさんの方とのつながり」だと強調します。

福田さんは、いつか孫が生まれたら、学校に行ってベルマーク活動をしてみたいそうです。「お年寄りが社会の役に立つことを実感でき、コミュニケーションのツールにもなり得るのではないのでしょうか」と語ってくれました。

貴重なお話を聞かせていただき
ありがとうございました



へき地校・特別支援学校 151校を支援

2020年度ベルマーク財団、リストは4ページに

ベルマーク教育助成財団は2020年度の支援として、全国のへき地校・特別支援学校計151校に対し、学校で必要な設備品や教材などを贈りました。4ページに支援した学校名を掲載しています。

例年実施している院内学級と海外の日本人学校については現在、支援先を決める作業をしています。また、今年で10年目となる東日本大震災被災校、さらには7月に九州を襲った豪雨の被災校も支援します。これらについて

は、決まり次第改めて報告します。



へき地校支援はベルマーク運動の原点です。へき地の学校の設備充実を訴える声が朝日新聞に届き、それにこたえる形で1960年10月24日、「教育設備助成会」ができました。これが今のベルマーク財団です。

今年度は100校に希望の備品・教材(25万円相当)と朝日ジュニア学習年鑑を贈りました。これまでに財団が

支援した学校は、のべ3万4420校。東日本大震災があった直後の2011年度を除き、毎年必ず実施しています。

特別支援学校への支援は1985年から始めました。今年度は計51校が対象。内訳は養護学校20、盲学校14、ろう学校17です。養護学校には希望の備品・教材を、盲学校には拡大読書器を、ろう学校には短焦点プロジェクターを贈りました。これまでに支援した学校は、のべ996校になります。

児童の委員会、チームワークで活動中

学校統合で900万点達成、岩手・山田町立山田小



ベルマーク委員会のみなさん。後列左端が三浦秀行校長、その隣が米澤久美子先生、後列右端が森内俊彦先生

岩手県山田町にある町立山田小学校（三浦秀行校長、348人）のこれまで集めた点数が900万点を超えました。4月に周辺の6校が統合して創立し、そのうち山田南小、山田北小、大沢小、織笠小がベルマーク運動に参加していたことから預金が合算されました。県内で累計900万点に到達した学校は初めてです。

上記4校は、多くのマークを集めてきたと同時に、財団の東日本大震災被災校支援の対象校でもありました。震災は町にも深刻な影響をもたらし、現在の校舎である旧山田南小も「当時は学校、消防署、病院、避難所として重要な役割を担った」と三浦校長が教えてくれました。

学校の最寄り駅は、三陸鉄道リアス線の陸中山田駅。駅は震災後に建てられた新しい駅舎です。駅から山田小までは約10分、平らな道を歩きます。道のりの半分ほどは、比較的新しい住宅や店が立ち並び、舗装されて間もない道路が続きます。この地域は津波だけでなく、プロパンガスの爆発などにより火災も発生し、復興・再整備には長い時間を要したそうです。

旧山田南小では、毎年3月11日に“希望と絆の会”が行われてきました。学校には、震災遺族から寄贈された

2本の寒緋桜があり、“希望の木”“絆の木”と名付けられています。その経緯などを、全校集会を開いて子どもたちに伝えてきたそうです。「統合しても、語り継ぐことは続けていきたい」と、三浦校長は話しました。

統合後の学校運営については、先生方が話し合いを重ね、ベルマーク活動は児童のベルマーク委員会が行うことになりました。

8月下旬、委員会活動がありました。この日の活動内容は、貯めたベルマーク預金を使って何を買うか決めること。予算は1学級5000円です。「ボールなら2、3個は買えるね」「これは高すぎるね」とお金の計算もします。この日選んだ品物の中から、各学級で何を買うか決めてもらい、先生が発注します。届いたら委員会のメンバーが記名をして学級に配るそうです。

マークの仕分けも児童が担当しています。担当の米澤久美子先生は、「これまで経験のない子も慣れている子も協力して活動している。中には、自ら休み時間や朝の時間を使って仕分けしてくれる子もいる」といいます。

西川生紗さん(6年)は、5年生のときにベルマークに関わって楽しかったことから今年、委員長に立候補しま



⑤ふせんに欲しいものを書いて、お買いものガイドに貼っていきます ⑥校庭でも教室でもみんなが仲良く遊べるものは何だろうか？
⑦岩手県の三陸海岸沿いを走る三陸鉄道。NHKの朝ドラ「あまちゃん」で一躍有名となりました

した。「仕分けにはチームワークが必要。みんなで最後まで作業が出来たとき嬉しい」と話します。副委員長の佐々木七海さん(6年)は今年初めてベルマーク委員になりました。細かい作業が好きで、活動は楽しいようです。

山田小には、遠方のボランティア団体からマークが寄贈されることもあるそうです。三浦校長に今後、マークを使って購入したいものをうかがうと「実際に1年間過ごしてみないと、何が必要になるかわからない。いざ欲しいものが出てきたときに、すぐに使えるベルマークはとても心強い」と話してくれました。

見学、発表会、研修…バス代を活用

2019年度東日本大震災支援、岩手県中学校長会が報告

昨年度、ベルマーク財団が東日本大震災被災校支援として生徒が移動するためのバス代を援助した岩手県内の中学校の報告書が届きました。貼付された写真からは、ベルマーク運動によって生み出された支援金が、実際に子どもたちの学校生活に活かされた様子を具体的に知ることが出来ました。

大船渡市立赤崎中学校(菅生裕之校長)は、2つの行事にバス代を活用しました。1年生の気仙地区中学校総合文化祭の見学と、3年生の総合的な学習「防災教育・避難所運営体験事前学習」です。学校から車で約30分の場所にある、陸前高田市の東日本大震災津波伝承館「いわて TSUNAMI メモリアル」を訪れまし

た。“命を守り、海と大地と共に生きる”をテーマに、被災地の歴史、事実と教訓、そして復興までの流れを常設で展示している施設だそうです。

大船渡市立綾里中学校(奥田昌夫校長)では、バスを使って、市内の全中学校が参加する音楽発表会に行きました。同校では、毎年全校生徒で参加しているため、2台分使う必要があります。報告書には、「約30分の距離ですが、バス代も高くなっているため大変助かっています」と書かれていました。



陸前高田市立高田東中学校(昆野賢寿校長)では、2年生の宿泊研修に活用されました。盛岡市内に1泊し、商業施設での陸前高田市PR活動や、班ごとに公共交通機関を使っの自主学习で学びを深めることが出来たといいます。

野田村立野田中学校(南隆人校長)の3年生の行き先は、発生から25年が経った阪神淡路大震災の被災地である兵庫県西宮市。震災が起きた1月17日に西宮震災記念碑公園を訪れ、花を手向けました。

18日には、8年前から交流を続けている西宮市立浜脇中学校との「被災地きずなコンサート」が開かれました。野田中は3年生30人による復興太鼓を、浜

脇中は合唱部と吹奏楽部による演奏を披露しました。両部は、東日本大震災支援のため、現地でチャリティーコンサートを開催したことがあるそうです。



昨年度、財団は東日本大震災被災校支援として、岩手・宮城・福島3県の小中学校139校に総額1200万円相当を支援しました。参加団体による「お買いもの」、ベルマーク預金を直接寄付にあてる友愛援助、参加団体以外からも寄せられる寄贈マーク、さらにウェブベルマーク運動による助成金も援助につながります。団体、個人を問わず運動に協力して下さる全ての皆さんに、改めて感謝いたします。

ひじは直角、意識して後ろに振ろう！

2020「走り方教室」、横浜市立東山田小で始まる

ベルマーク財団の教育応援隊「走り方教室」が9月1日、横浜市都筑区の東山田小学校（宇都宮桂校長、561人）で開かれました。今年度最初の教室です。4年生3クラス105人が「密」を避けるためクラスごとに受講。そのうち1組の教室取材しました。教えるのはミズノスポーツサービスの松岡通介コーチと寺尾幸喜コーチです。

速く走るには、腕の振り方にコツが。①手の形はグーなら卵を握りつぶさない程度に弱く握る②ひじは直角に③そのひじを意識して後ろに振る、です。

松岡コーチは家庭でもできる練習方法も教えました。自分の後ろに立った家族に、両手を前に出してもらい、その手のひらにひじが当たるよう、腕をしっかり前後に振ります。肩も大きく動くようなら、後ろから両肩を押さえてもらうと良いそうです。

スタートの構え方にも3つのポイントがあります。①後ろに引く足は右か左か事前に決めておく。後ろから誰かに押された際に体を支えるため前に出る足を後ろ側に②片方の足を思い切り後ろに引き、そこから半分ぐらいまで戻した長さで構える③前に出す手と足は左右反対になるように。

一連の流れをおさらいし、練習を繰り返します。最後に25m走で時間を計測。教室開始時と比べ、みんなより速くしなやかな動きで駆けて行きました。「スタートがバッチリ決まって、すごくよかったよ」と松岡コーチ。宇都宮校長も「運動会の練習に生かしていけるとと思います」と述べていました。

協力会社のミズノによる今年度の「走り方・サッカー教室」は、折からのコロナ禍で申し込みが少なく、現在も応募受付中です。詳細は財団HPから。



①最初の走りに比べて、より速くしなやかな動きに
②③コーチと一緒に、ひじを後ろに振る練習
④⑤スタート時に開く足の幅を確認する

「防災科学教室」オンライン開催も募集

コロナ禍に対応、通常型とあわせてご検討を

ベルマーク財団の教育応援隊のひとつ「防災科学教室」は、新型コロナ禍の状況に対応したオンライン開催を新たに選択肢に加えました。もちろん、講師を直接派遣する通常の方法での開催も可能です。学校側の事情にあわせた形での開催をご検討ください。

防災科学教室はベルマーク財団と国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）の共催です。オンライン開催はweb会議システムを使った双方向通信で行います。学校のモニター画面やプロジェクターなどに講師を

映す一方、子どもたちの映像もカメラで撮って送ってもらい、その表情や反応を見ながら講師は話を進めます。必要な教材等は事前に学校にお送りし、画面からの指導で組み立てたり使ったりしてもらいます。

各家庭のパソコンと講師をつなげば、学校で実施するのと同じような防災科学教室を自宅で体験することもできます。その場合は親子での参加もおすすめです。開催には通信環境や機材が必要です。詳細は財団HPをご覧ください。



人気のDr.ナダレンジャーも防災科研の研究者で講師の一人です

へき地校にリユースパソコン170台を寄贈

ジブラルタ生命、発案者はベルマーク大使の松本さん

協賛会社のジブラルタ生命（ベルマーク番号15）が、社内で使わなくなったパソコン170台を全国のへき地校160校に寄贈しました。2015年から毎年寄贈し続け、今年度分を含めると、延べ1547校に1795台となりました。

リユースパソコンの検討や調整、手配はシステム部門の社員が行い、寄贈先の募集には、全国へき地教育研究連盟の協力を得ています。その後、例年は同社役員や社員が学校に届けますが、今年度は訪問を自粛しました。

取り組みの発案者は、執行役員で財団の“ベルマーク大使”も務める松本哲さん。かねてよりへき地校に関心を持ち、2004年に協賛会社になるきっかけを作りました。

意識しているのは、2015年9月の国連サミットで採択された“持続可能な開発目標（SDGs）”です。これは、“誰一人取り残さない”社会の実現を目指すための17の目標で、その中に“質の高い教育をみんなに”という項目があります。松本さんは、「ひきこもりや不登校の増加、学力の二極化など、子どもたちを取り巻く環境が変化していく中で、SDGsをどう実現するか模索した」ときに、「へき地校には教育の原点、これからの教育の展望がある」と考えたのだそうです。

寄贈先からは「授業で子どもたちと一緒に使わせていただきます」、「自由に使えるパソコンが欲しかったので助かりました」という感謝の気持ちや、「IT活用の授業が推奨されているが、市町村の予算は限られている。大変助かります」という切実な声が聞かれたといいます。



2019年、長野県小川村立小川小学校にて。右端が松本哲さん

松本さんが普段、個人的に意識しているのは「会社として、個人として、世の中に存在している価値をひとつでも多く生み出すこと」です。それにより「多くの人を幸せにし、日本初・業界初の試みを生み出せば、それが働くモチベーションになる」と話してくれました。

ジブラルタ生命は全商品に一律100点のマークを付けています。生命保険業界初の協賛会社となって15年以上経ちましたが、「営業社員はおそらく全員がベルマークを認知している。運動を通じて社会や学校教育へ貢献していることに、誇りを持つ社員も増えてきている」と松本さんは感じています。

アルミ付き紙パックキャンペーン 締切を10/26に延長

協賛会社の日本テトラパック（ベルマーク番号17）が4月1日から実施しているキャンペーン「第3回アルミ付き紙パック回収チャレンジ」の期間が約1カ月延長されました。新しい応募締め切りは10月26日（月）です。これまでに一度も「アルミ付き紙パック」を送ったことのない団体が対象となります。詳しくは日本テトラパックのホームページをご覧ください。



麒麟ビバレッジの東北応援 第3弾キャンペーン開始

協賛会社麒麟ビバレッジ（ベルマーク番号54）の東北地区本部は、東北6県で「ベルマークを集めて！東北の元気を応援キャンペーン第3弾」を始めました。同社の清涼飲料水のベルマークを4点分集めて応募すると、東北地方の名産品が選べるギフトカタログが抽選で100人に当たります。締切は10月7日（水）、当日消印有効。問い合わせは麒麟・キャンペーン事務局（0120-465-231、平日10～17時）へ。集まったマークは東北の小学校に寄付されます。



ベルマーク便りコンクール、まもなく締切

9月30日消印有効、あらゆる広報媒体が対象です

第35回ベルマーク便りコンクールの応募締切が近づいてきました。9月30日消印有効です。応募すれば、入賞を逃しても必ず2000円の図書カードがもらえます。

参加団体が、家庭や子どもたち、地域の人たちに向けて作った広報物が対象です。マーク収集や活動への協力を呼びかけるお知らせ、イベントの告知や報告、運動の仕組みについての説明など、ベルマークを取り上げていれば何でもOKです。プリントや冊子、広報誌の1ページなど形式は自由で、カラーや白黒、パソコン入力や手書きなども何でも構いません。

対象は、過去1年以内(2019年10月1日～2020年9月30日)に作成されたお便りです。何回か発行し

た場合は、活動状況がわかるよう、出来るだけ多くの作品をお送りください。

【あて先】〒104-0045 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 ベルマーク財団「ベルマーク便りコンクール係」

【注意事項】ベルマークと一緒にせず、必ず上記の宛て名に別送してください。

作品は財団職員が審査し、優秀賞10校には賞金3万円と額入り表彰状を贈ります。佳作・特別賞あわせて約10校には、各1万円と額入り表彰状を贈ります。ほかの応募団体には参加賞として2000円の図書カードを贈ります。入賞校は11月に財団ホームページで発表します。



昨年度、優秀賞を受賞した作品

2020年度援助対象校

へき地校・特別支援学校、本文は1ページに

北海道【へき地】帯広市 八千代中▽網走市 東小▽稚内市 稚内中央小▽根室市 歯舞学園前期課程、光洋中▽富良野市 樹海中▽知内町 涌元小▽江差町 江差小▽島牧村 島牧中▽寿都町 寿都小▽中富良野町 旭中小▽遠別町 遠別小▽枝幸町 歌登中▽滝上町 滝上中▽大空町 東藻琴小▽日高町 富川小▽平取町 振内中▽音更町 西中音更小▽鹿追町 笹川小▽浜中町 霧多布中▽標茶町 虹別小【特別支援】札幌市北区 札幌聾学校▽函館市 函館聾学校▽小樽市 高等聾学校▽旭川市 旭川聾学校▽室蘭市 室蘭聾学校▽釧路市 釧路鶴野支援学校聴覚障がい教育部門▽帯広市 帯広聾学校

青森県【へき地】外ヶ浜町 三厩小▽大間町 奥戸小【特別支援】青森市 青森聾学校▽弘前市 弘前聾学校▽八戸市 八戸聾学校

岩手県【へき地】二戸市 浄法寺小▽葛巻町 小屋瀬中▽岩泉町 小川小【特別支援】盛岡市 盛岡聴覚支援学校▽一関市 一関清明支援学校聴覚障がい教育部門

宮城県【へき地】気仙沼市 中井小【特別支援】仙台市太白区 県立聴覚支援学校▽美里町 聴覚支援学校小牛田校

秋田県【へき地】男鹿市 男鹿北中【特別支援】秋田市 県立聴覚支援学校

山形県【へき地】大蔵村 大蔵小【特別支援】山形市 山形聾学校▽酒田市 酒田特別支援学校聴覚障がい教育部

福島県【へき地】川俣町 山木屋中▽三島町 三島小

茨城県【へき地】大子町 さはら小

栃木県【へき地】日光市 中宮祠中

群馬県【へき地】沼田市 利根中

千葉県【へき地】君津市 清和小

東京都【へき地】青ヶ島村 青ヶ島小

神奈川県【特別支援】横浜市神奈川区 市立盲特別支援学校▽同中区 横浜訓盲学院▽相模原市中央区 相模原中央支援学校視覚障害教育部門▽同南区 相模原養護学校

新潟県【へき地】小千谷市 南小▽佐渡市 加茂小▽南魚沼市 中之島小【特別支援】新潟市中央区 新潟盲学校

富山県【へき地】南砺市 平中【特別支援】富山市 富山視覚総合支援学校▽高岡市 こまどり支援学校

石川県【へき地】輪島市 東陽中【特別支援】金沢市 県立盲学校▽珠洲市 七尾特別支援学校珠洲分校

福井県【へき地】池田町 池田小【特別支援】福井市 清水特別支援学校、県立盲学校

山梨県【へき地】小菅村 小菅中【特別支援】甲府市 富士見支援学校、県立盲学校

長野県【へき地】飯田市 和田小▽天龍村 天龍中【特別支援】長野市 長野盲学校▽松本市 松本盲学校

岐阜県【へき地】高山市 荘川小【特別支援】岐阜市 岐阜盲学校▽大垣市 西濃高等特別支

援学校

静岡県【へき地】南伊豆町 南中小【特別支援】静岡市駿河区 静岡視覚特別支援学校▽浜松市中区 浜松視覚特別支援学校▽沼津市 沼津視覚特別支援学校

愛知県【へき地】設楽町 設楽中

三重県【へき地】松阪市 香肌小▽大紀町 大紀中

滋賀県【へき地】甲賀市 朝宮小【特別支援】彦根市 鳥居本養護学校

京都府【へき地】宇治市 笠取小【特別支援】亀岡市 丹波支援学校亀岡分校

大阪府【特別支援】高槻市 高槻支援学校

兵庫県【へき地】宍粟市 一宮北小

奈良県【へき地】上北山村 上北山やまゆり学園【特別支援】奈良市 奈良養護学校

和歌山県【へき地】田辺市 咲楽小▽日高川町 川原河小【特別支援】新宮市 みくまの支援学校

鳥取県【へき地】南部町 会見第二小【特別支援】米子市 皆生養護学校

島根県【へき地】安来市 山佐小▽邑南町 矢上小【特別支援】出雲市 出雲養護学校

岡山県【へき地】笠岡市 北木小▽真庭市 湯原小【特別支援】倉敷市 倉敷琴浦高等支援学校

広島県【へき地】北広島町 豊平小▽神石高原町 三和小【特別支援】福山市 福山特別支援学校

山口県【へき地】萩市 小川小

徳島県【へき地】阿南市 椿泊小▽三好市 西祖谷中

香川県【へき地】高松市 男木中

愛媛県【へき地】西予市 城川小▽久万高原町 面河小

高知県【へき地】馬路村 魚梁瀬小▽津野町 中央小▽大月町 大月小

福岡県【へき地】福岡市西区 小呂中【特別支援】古賀市 古賀特別支援学校

佐賀県【へき地】佐賀市 北山中

長崎県【へき地】長崎市 池島中▽佐世保市 相浦小高島分校▽五島市 奈留小▽西海市 江島中▽小値賀町 小値賀中【特別支援】壱岐市 虹の原特別支援学校壱岐分校高等部

熊本県【へき地】上天草市 龍ヶ岳小▽多良木町 黒肥地小柳野分校【特別支援】宇城市 松橋西支援学校

大分県【へき地】日田市 小野小▽佐伯市 直川中【特別支援】大分市 大分支援学校

宮崎県【へき地】延岡市 三川内小

鹿児島県【へき地】鹿屋市 高隈小▽西之表市 種子島中▽薩摩川内市 上手小、蘭牟田小▽霧島市 万膳小、中津川小▽志布志市 野神小、山重小▽奄美市 朝日中▽湧水町 幸田小▽錦江町 田代中【特別支援】中種子町 中種子養護学校

沖縄県【へき地】石垣市 八島小、石垣第二中▽宮古島市 北小、下地中▽東村 有銘小

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉7月21日～8月20日

▼北海道 川守田二美子 三浦アキ子▼岩手県 匿名希望▼茨城県 鈴木奈緒▼栃木県 斎藤由紀子 鈴木めぐみ 大塚正志▼群馬県 佐藤美奈子▼埼玉県 上野 梅田直美 寺島大貴 清水久子 箭内千寿 森内悦子▼千葉県 関田元子▼東京都 (株)国際開発ジャーナル 鶴山英己 藤島高ベルマーク部 キューアンドエー 太刀川忠良 井上晴美 岩本三礼子 佐久間純子 武田文代 日本基督教団小金井緑町教会 矢加部晴子 柳沢里恵▼神奈川県 岡田京子 中村繁治 下村澄子 なかまゆ 匿名希望▼新潟県 ライト工業(株)佐渡営業所 渡邊亜里抄 匿名希望▼富山県 銀の車輪 高須優里▼石川県 大源洋治▼静岡県 山内柔磨 影山圭子▼愛知県 小林貫嗣 中村 堀部悦子▼三重県 池俣純子▼京都府 八木香子▼大阪府 GARAGELucky 武山陽子 松崎第一キッズクラブ 関西創価中▼奈良県 宮崎新嗣▼鳥取県 吉田久美子▼岡山県 岡村早貴▼広島県 松尾真希▼山口県 匿名希望▼愛媛県 愛媛大生協学生委員会平和部局▼高知県 北川中▼福岡県 遠藤元樹 九州労働金庫労組福岡支部▼熊本県 九州労働金庫労組熊本支部▼大分県 藤本夕梨花 九州労働金庫労組大分支部▼松井恵▼無記名=14件

〈一般寄贈〉7月21日～8月20日

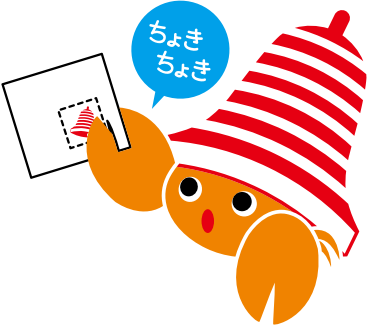
▼北海道 浅井美砂子 美唄消費者協会 さいとうようこ▼青森県 玉熊あい 相馬令子▼宮城県 佐藤和恵▼秋田県 鈴木薫▼福島県 福

島ゆかり▼茨城県 菅谷萌那 (旬)井上商事 神栖市社協ベルの会▼栃木県 匿名希望▼群馬県 トウショウレックス(株) 木暮洗翔 匿名希望▼埼玉県 竹内寿治 成田瑞江 敷陽一 斎藤公英 鈴木多恵子 内藤美子 日向としみ 前園弘▼千葉県 今うた子 長谷光世 アクア総合社労士事務所 笈田幸江 岡崎幸枝 村山純子▼東京都 (株)ブックルックチーム 住吉久美子 寺田真人 平野美穂 深澤雅子 山田泉 アンジェラ 市川佳世子 (株)ニチレイ 竹井彰 野村和子 幡野英明 ヤマト運輸労組多摩支部青年部 ヤマト運輸労組西東京支部青年部 らっく 市野容子 酒井克子 幸仁クリニック デイケア 多摩西部朝日会 星野一樹 村上史子 大塚麻理子・結斗 匿名希望▼神奈川県 モスバーガー秦野店 石黒琢一郎 石井久美子 金澤美津子 杉村麻 田中宏▼新潟県 清水フードセンター 深澤悦子 ひまわりクラブ▼長野県 塚田康子 溝田恵美▼岐阜県 奥原たかし 合渡小▼静岡県 アイスター商事代理店 杉山美千子 国武真由美▼愛知県 稲垣寿美江 (株)ジェイエスピー (株)ニュースパイラル (株)ネクサス 中外製薬労組 加藤陽子 金原範幸▼三重県 内野和子 山本房子 アイスター商事代理店川口節子 (株)村上商店 濱口愛 阪口敏子 藤田▼滋賀県 近藤ひろみ 匿名希望▼大阪府 日本パレットグループ(株) アズビル(株)アドバンスオートメーションカンパニー関西支社 秋山諭 (株)エスカーサ (株)トヨタレンタリース大阪 CSR 委員会 参河江美子 横田和子 中谷昭▼兵庫県 西岡千穂 太田美和 辰己真

理▼奈良県 石丸二二子 金光教北山教会信徒会 堀田幸代▼鳥取県 須崎恵美子▼岡山県 大塚泰弘 莊司かおり 天満屋ストア労組 鳥越多美子▼広島県 佐藤玲 匿名希望▼山口県 細井優希▼愛媛県 黒田道代▼福岡県 高木房子 坪内みえ 幸田昂久 武田綾奈▼長崎県 安永久美・秀晃▼大分県 井上義雄 上坂美千代▼鹿児島県 新田真澄▼沖縄県 大嶺さつき 匿名希望▼無記名=26件

〈友愛援助申し込み〉8月1日～8月31日

◆熊本県 桜山中(熊本市中央区)



大台達成校

8月

羽咋小	石川県羽咋市	7,007,497
白岳小	広島県呉市	7,002,479
植田小	福島県いわき市	5,044,220
遠石小	山口県周南市	5,014,460
城南小	大分市	5,023,454
安中小	群馬県安中市	4,048,770
稲沢東小	愛知県稲沢市	4,020,189
玉川小	長野県茅野市	3,001,684
安西小	静岡市葵区	3,040,291
放虎原小	長崎県大村市	3,049,458
町畑小	青森県八戸市	2,004,447
上北沢小	東京都世田谷区	2,023,607
坂戸小	川崎市高津区	2,031,510
青山小	大津市	2,023,802
摂津小	大阪府摂津市	2,046,270
王寺北小	奈良県王寺町	2,007,317
福山暁の星幼稚園		
	広島県福山市	2,011,131
由布川小	大分県由布市	2,008,402
杉並小	茨城県石岡市	1,052,275
本太幼稚園	さいたま市浦和区	1,011,368
ながみや幼稚園		
	埼玉県ふじみ野市	1,004,481
東野小	埼玉県新座市	1,010,899
金沢小	東京都板橋区	1,045,849
静岡若葉幼稚園	静岡市駿河区	1,009,623
緑が丘こども園	愛知県豊橋市	1,007,450
南大津小	兵庫県姫路市	1,007,057
シオン保育園	島根県西ノ島町	1,120,115
久保泉小	佐賀市	1,017,074